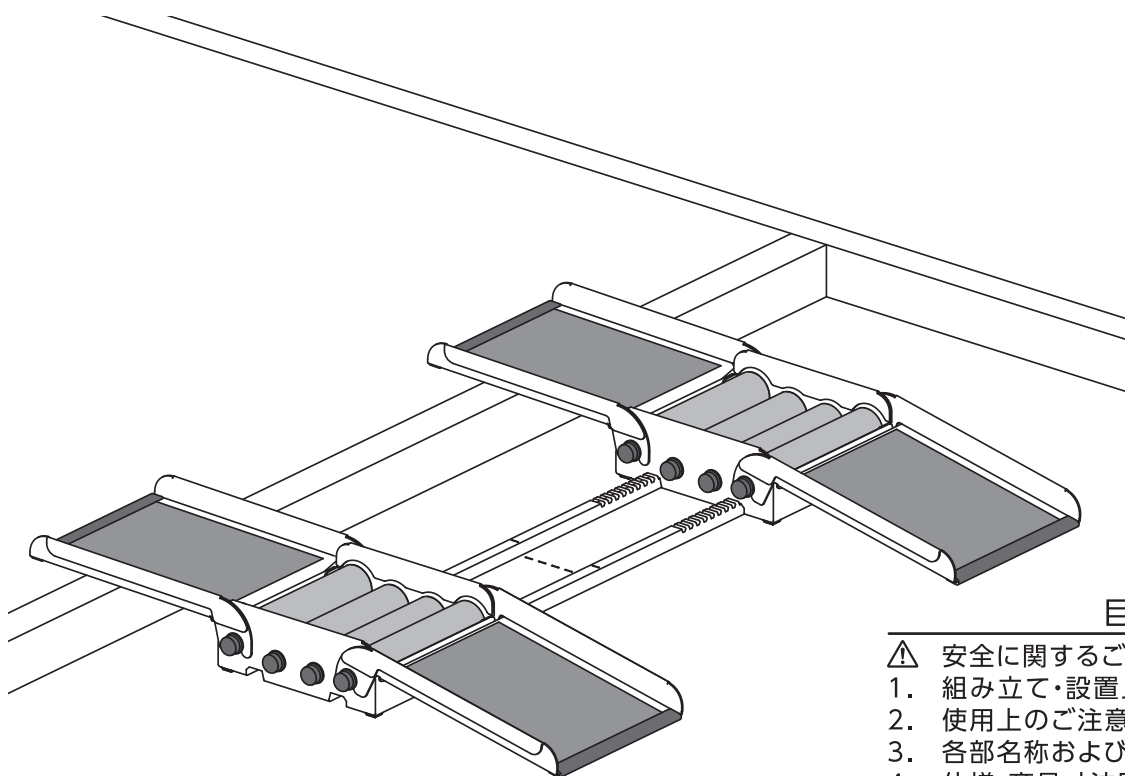


車いすタイヤの クリーニングサポーター クリサポ



目次

⚠ 安全に関するご注意	P1
1. 組み立て・設置上のご注意	P2
2. 使用上のご注意	P3~4
3. 各部名称および梱包内容	P5
4. 仕様・商品寸法図	P5
5. 設置条件	P6
6. 組み立て方法	P7
7. 使用方法	P8
8. 使用の際の点検項目	P9
9. お手入れ方法	P9~P10
10. 部品の交換方法	P11
11. このようなときには	P12
保証書	P13



安全に関するご注意

このたびは、車いすタイヤのクリーニングサポーター「クリサポ」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。この説明書はお読みになった後もいつでも見れる場所に大切に保管してください。

ここに示した注意事項は、製品を安全にお使いいただき、ご本人や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は次のように区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負うことが想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性または物的障害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

禁止 	禁止 は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「禁止」を示します。
必ず実行 	必ず実行 は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

1. 組み立て・設置上のご注意

 警告	 禁止	●類似他社製品と組み合わせて使用しないでください。破損や事故の原因になります。また、類似他社製品と組み合わせた場合の安全性は保証できません。
		●製品の分解、改造は絶対にしないでください。破損や事故の原因になります。
		●斜面に設置しないでください。介助者が車いすを支えきれなくなり、転倒やけがの原因になります。
		●段差5cmを超える場所にスロープを掛けて使用しないでください。転倒やけがの原因になります。
		●マットなど敷き物の上に設置しないでください。不安定になり、滑って転倒するおそれがあります。
		●ねじ、アンカーなどでスロープやローラー台を固定しないでください。破損や事故の原因になります。
		●公道などの道路にはみだして設置しないでください。車両や人の通行を妨げ、事故につながるおそれがあります。
	 必ず実行	●平らで水平な場所に設置してください。斜面や砂利・土などの不安定な地面や、滑りやすい地面に設置するとがたつきが発生し、事故やけがの原因になります。 砂利や土の上ではしっかりと地面をならし、がたつきがないことを確認してください。
		●段差のある場所に設置する場合、ローラー台を段差の下に設置し、段差の上にスロープを掛けて使用してください。
		●段差のある場所に設置する場合、上側スロープの先端が5cm以上設置面に掛かっていることを必ず確認してください。
		●段差5cmを超える場所で使用する場合、他の段差解消スロープなどを併用し、その上か下の平らで水平な場所に設置してください。
		●使用する車いすの前輪の内側と、後輪のハンドリムの外側が左右ともローラー台の幅に収まるように位置を調整して設置してください。〔6. 組み立て方法〕参照
		●ローラー台は必ず左右2台ともガイドフレームにはめ込んで設置してください。ガイドフレームを使用しないと左右の設置位置がずれて不安定となり、転倒やけがの原因になります。
		●設置後、がたつき、ねじのゆるみ、締め忘れがないことを必ず確認してください。 ゆるみが発生している場合は工具を使用して固く締めてから使用する。ねじなど、必要な部品を残さず組み立ててください。
 注意	 禁止	●火気を近づけたり、ストーブやヒーターのそばには設置しないでください。火災や変質、変形、破損の原因になります。また金属部分が熱くなり、火傷の原因になります。
		●直接日光が当たる場所や高温の場所、雨ざらしの場所に長時間設置しないでください。製品が劣化しやすくなり、錆、変質や変形、破損の原因になります。
		●浴室などの常時水に濡れる場所には設置しないでください。錆、変質や変形、破損の原因になります。
	 必ず実行	●直接日光が当たる場所に設置すると、金属部が熱くなることがあるので注意してください。火傷の原因になります。
		●長時間太陽光にさらされると、変色・退色・劣化する場合があるので注意してください。
		●左右のローラー台は、ガイドフレーム中央の点線を中心にしておおむね左右対称になるように設置してください。
		●車いす使用者、介助者の動線を十分に検討したうえで設置場所を決めてください。動線が確保されていないと、けがや事故の原因になります。
		●クッションフロア材(塩化ビニル製)などの上に長時間設置すると、へこみや色移りする場合があるので注意してください。
		●扉付近に設置するときは、扉と製品との干渉を十分に確認してください。接触すると扉や製品が破損する原因になります。

2. 使用上のご注意



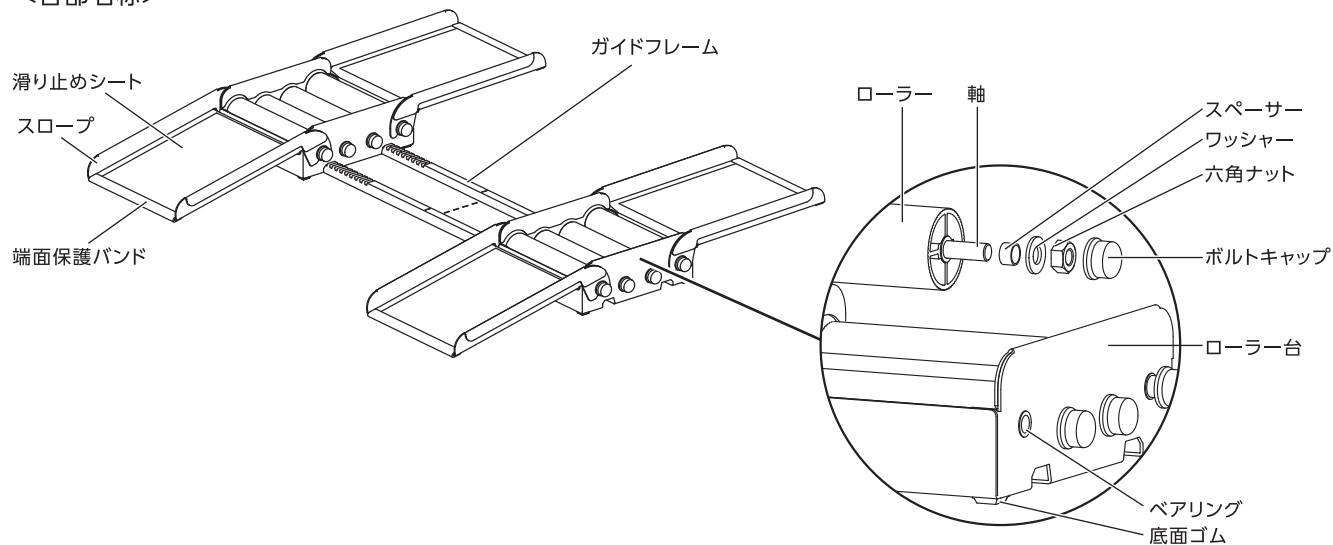
- 手動車いすのタイヤ清掃、段差解消以外の用途で使用しないでください。破損や事故の原因になります。
- 車いす使用者のみで使用しないでください。必ず介助者が付き添い、車いすを押して使用してください。転倒や事故の原因になります。
- 最大耐荷重は115kgです。使用者の体重と車いすや積載物などを含め、総重量が115kgを超える状態で使用しないでください。製品が破損し、転倒やけがの原因になります。
- 手動走行に切り替えられない電動車いすには使用しないでください。電動走行で使用すると製品が破損し、転倒やけがの原因になります。
- 六輪車いす、電動二輪車、電動三輪車には使用しないでください。製品が破損し、転倒やけがの原因になります。
- 全体幅が70cm以上の車いすには使用しないでください。製品が破損し、転倒やけがの原因になります。
- 車軸および電動ユニットの最低地上高が4cm以下の車いすには使用しないでください。製品が破損し、転倒やけがの原因になります。
- タイヤ幅が13cm以上の車いすには使用しないでください。製品が破損し、転倒やけがの原因になります。
- 空気圧が少ない状態のタイヤや、摩耗したタイヤの車いすには使用しないでください。破損や事故の原因になります。
- 2台以上の車いすで同時に使用しないでください。本製品は一台用です。破損や事故の原因になります。
- 介助者は製品の上に乗ったり、足で踏んだりしないでください。製品が破損し、転倒やけがの原因になります。
- 雨、雪、強風、濃霧など、危険が予想される状況では使用しないでください。転倒やけがの原因になります。
- スロープやローラーに砂利や土、雪などが付着したり凍結した状態のまま使用しないでください。滑って転倒するおそれがあります。
- 車いすのタイヤ、ハンドリムがスロープの側壁に当たって擦れる状態で使用しないでください。破損や事故の原因になります。
- 前方が見えないほど身長の高い方や子供は、車いすを押さないでください。事故につながるおそれがあります。
- 予測できない行動をとる可能性のある方や、自力で危険な状態から回避することができない方は車いすを押さないでください。(12歳以下や認知症の方) 生命に関わる重大な事故につながるおそれがあります。
- 子供を遊ばせるなど遊具として使用しないでください。破損や事故の原因になります。
- 電動車いすに使用する場合、必ず電源を切り、手動走行に切り替えて使用してください。
- 介助者はスロープやローラー台を踏まずに、左右のスロープとスロープの間を歩いて車いすを押してください。製品の上に乗ると破損や事故の原因になります。
- 使用前に各部の傷、割れ、がたつき、端面保護バンドのはずれ、滑り止めシートのはがれ、異物の付着などの異常がないことを点検してください。
- 使用前に製品が車いすの幅に合った設置位置であることを確認、ローラー台の設置幅を調整してから使用してください。
- タイヤの空気圧を確認の上で使用してください。適正な空気圧でない場合、ローラーに過度の負担がかかり製品の破損の原因になります。(適正空気圧はタイヤの側面に記載されています。)
- スロープにはゆっくりとまっすぐ進入し、進入時にスロープがずれないことを確認してください。急いで進入したり急停止をするとスロープがずれて設置が不安定となり、転倒やけがの原因になります。また、斜めのまま進入すると脱輪しやすくなり、転倒のおそれがあります。
- 左右のタイヤがそれぞれスロープの中央付近を通るように進入し、タイヤやハンドリムがスロープの側壁に当たらないよう注意して使用してください。
- タイヤを清掃する際は、ローラーの上で車輪をゆっくりと回転させてください。急速に回転させると不用意に前後に進んだり、タイヤや製品の摩耗や破損の原因になります。

 警告	 必ず実行	●スロープを上ったりローラー台の上から前進するために前輪を上げる際は、必ず足元のティッピングレバーを踏み込みながら手押しハンドルを手前に引いてください。手押しハンドルのみに無理な力がかかると、破損や事故の原因になります。
		●車いすやタイヤが濡れた状態の場合は注意して使用してください。滑って転倒するおそれがあります。
		●使用者が車いすに安全に座れていることを確認してから使用してください。使用者の身体の一部または衣服が車輪やローラーに絡まるなどして、転倒やけがをするおそれがあります。
		●製品に異常を見つけた場合は使用を中止してください。異音のする場合や機能を損なう状態の場合は直ちに使用を中止し、販売店や納入業者にご連絡ください。使用を続けると、破損や事故の原因になります。
		●定期的にがたつき、ねじのゆるみ、締め忘れ、部品の破損や摩耗がないことを確認してください。
 注意	 禁止	●スロープやローラー台を壁などに立て掛けて保管しないでください。変形、破損の原因になります。
		●持ち運ぶ際や保管、収納する際に、重量物を上に載せないでください。変形、破損の原因になります。
		●製品にワックスや潤滑剤を塗布したり、薬剤に浸漬させて使用しないでください。変質や変形、破損の原因になります。
		●殺虫剤などのスプレーを製品に向けて噴射しないでください。変質や変形、破損の原因になります。
	 必ず実行	●スロープの端面保護バンドは引っ張ったり、引きずったりするとはずれることがあるので注意してください。構造上バンドがずれたり動く場合がありますが、性能(安定性等)に影響はありません。端面保護バンドがはずれた場合は、端面保護バンドを手で押し込んで取り付けてください。 (「10. 部品の交換方法」参照)
		●スロープは滑り止めシートが確実に貼り付けられた状態で使用してください。はがれやめくれのある状態で使用すると転倒のおそれがあります。はがれたり表面がすり減った場合は、新しい滑り止めシートに貼り替えてください。(「10. 部品の交換方法」参照)
		●位置の調整や移動させる場合はスロープを取りはずしてから、ローラー台を持ち上げて移動させてください。スロープを取り付けたまま持った場合、スロープが落下、破損したり、指を挟むなどけがをするおそれがあります。引きずった場合、床面を傷つけるおそれがあります。
		●使用環境・使用状況によっては錆が発生するおそれがあります。錆びにくい素材を使用していますが、塩害地などの使用環境や、融雪剤を使用するなどの状況によっては錆が発生するおそれがあるので、ご注意ください。
		●製品の位置調整や移動、タイヤを清掃する際は、指などを挟まないよう注意してください。
		●介助者は滑りやすい靴や、靴底に突起がある靴(ピンヒールなど)、不安定な靴、靴下や裸足での使用を避けてください。転倒やけがをするおそれがあります。
		●夜間、暗い場所での使用はできるだけ避け、照明のある明るい状態で使用してください。
		●使用後は泥や汚れを落とし、よく乾燥させてください。汚れや濡れた状態を長時間放置すると、錆などの変質や変形、破損のおそれがあります。
		●お手入れの際は、取扱説明書に記載のお手入れ方法を確認してください。記載方法以外でお手入れを行った場合、変質や変形、破損のおそれがあります。

3. 各部名称および梱包内容

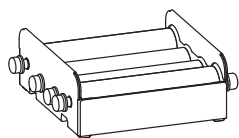
記載部品が全て揃っているか、また破損や変形などしていないか確認してください。
万が一、部品の不足や破損があった場合は、販売店や納入業者にご連絡ください。

<各部名称>

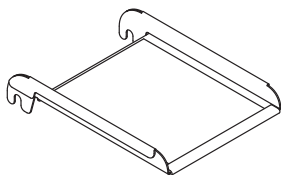


<梱包内容>

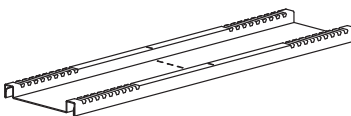
ローラー台×2



スロープ×4



ガイドフレーム×1

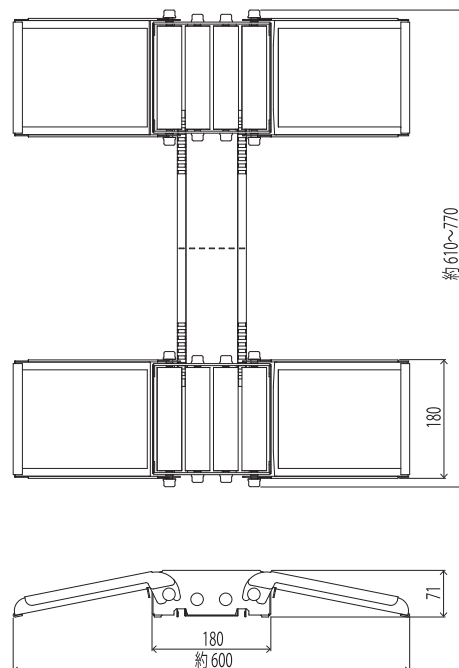


取扱説明書(本紙)×1



4. 仕様・商品寸法図

品名	クリサポ
品番	YM-151L-ST
材質	ローラー台・スロープ・ガイドフレーム : ステンレススチール ローラー : 塩化ビニル樹脂 軸・ねじ類 : ステンレススチール ボルトキャップ : ポリエチレン 滑り止めシート : プラスチック 端面保護バンド : TPE・アルミニウム合金 底面ゴム : ポリウレタン
サイズ	幅770～610×奥行600×高さ71mm
重量	約6kg
最大耐荷重	115kg



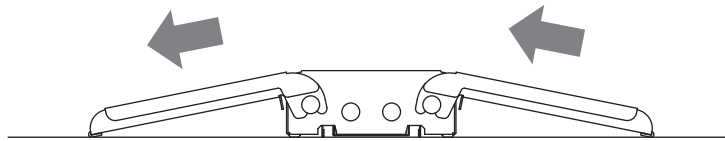
5. 設置条件

平らで水平な場所に設置可能です。または框など5cmまでの段差のある場所に設置し、スロープとしての機能を含めて使用することも可能です。

- 5cmを超える段差のある場所で使用する場合は、他の段差解消スロープなどを併用し、その段差の上か下の平らで水平な場所に設置してください。
- 5cmという最大使用可能段差はあくまで目安であり、車いす使用者や介助者の条件により異なります。無理のない角度でご使用ください。
- 扉付近に設置するときは、扉とスロープとの干渉を確認して、余裕をもって設置してください。

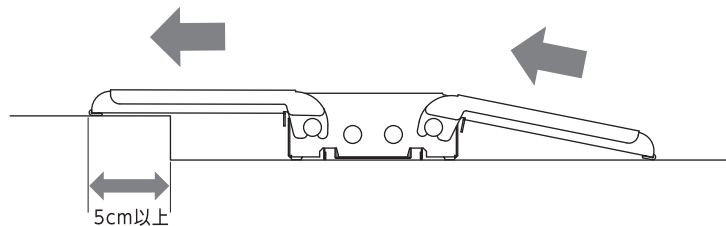
<平らな場所に設置する場合>

- 前後のスロープ先端を地面に接地させて設置してください。
- スロープでローラー台に上がり、タイヤ清掃後に進行方向のスロープで降りるように使用してください。



<段差のある場所に設置する場合>

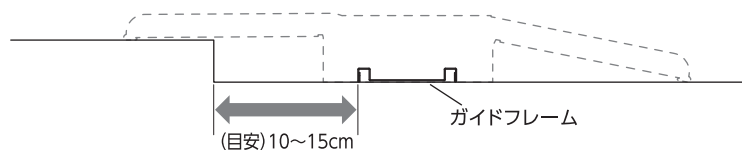
- ローラー台を段差の下に設置し、段差の上にスロープを掛けて使用してください。
- 上側スロープの先端が5cm以上設置面に掛かっていることを必ず確認してください。



6. 組み立て方法

①地面にガイドフレームを設置します。

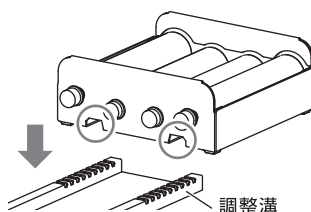
- ガイドフレームに前後はありません。
- 段差のある場所に設置する場合、段差の下にスロープを掛けるスペースを空けて設置してください。
目安は段差の先端から10～15cm程度です。
- 段差と平行になるように設置してください。



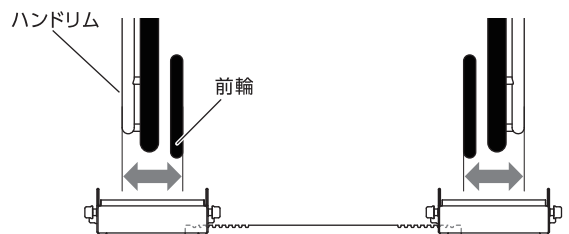
②ガイドフレームの左右にローラー台を載せます。車いすの左右車輪間の幅に合った位置のガイドフレームの調整溝に、ローラー台底面の凹み(前後2ヶ所)をはめ込んでください。(図1)

- ローラー台はすべて同じ形状です。左右や前後はありません。
- 使用する車いすの前輪の内側と、後輪のハンドリムの外側が左右ともローラー台の幅に収まるように位置を調整してください。(図2)
- 左右のローラー台の位置は、ガイドフレーム中央の点線を中心におおむね左右対称になるように設置してください。(図3)

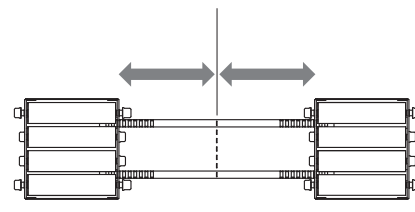
(図1)



(図2) 正面から見た図

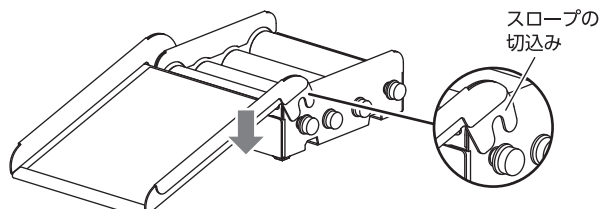
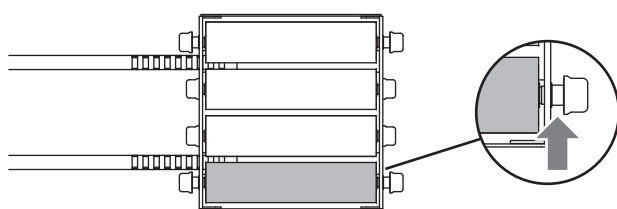


(図3) 上から見た図



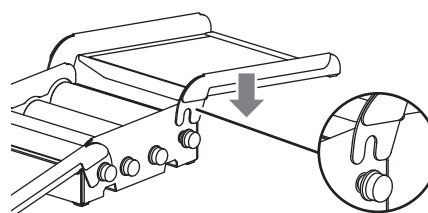
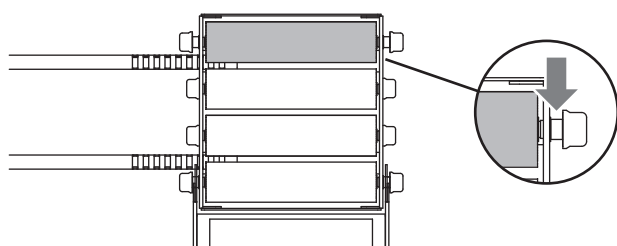
③左右のローラー台の手前にスロープを取り付けます。一番手前のローラー両端のボルトキャップとローラー台の隙間に、スロープの切込みを引っかけてください。スロープ先端は地面に接地させてください。

- スロープはすべて同じ形状です。左右や前側用、後ろ側用の区別はありません。滑り止めシートのある面を表にして取り付けてください。



④左右のローラー台の奥にスロープを取り付けます。一番奥のローラー両端のボルトキャップとローラー台の隙間に、スロープの切込みを引っかけてください。

- 段差のない場所に設置する場合、スロープ先端は地面に接地させてください。
- 段差のある場所に設置する場合、スロープ先端を5cm以上設置面に掛けてください。



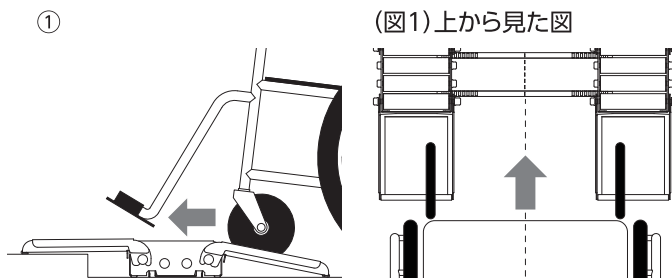
⑤がたつき、ゆがみがないことを確認して完成です。

7. 使用方法

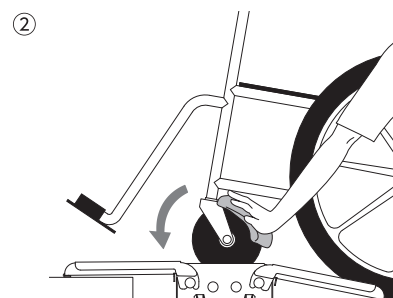
※タイヤを拭き上げるぞうきん、ウェットシートなどをご用意ください。

① 介助者が車いすを押し進め、スロープを上って前輪をローラーに乗せてください。

- ガイドフレーム中央の点線と車いすの中心を合わせるように意識して、左右の前輪がそれぞれスロープの中央付近を通るように進入してください。(図1)
- スロープにはゆっくりとまっすぐ進入してください。
- 介助者はスロープやローラー台を踏まずに、製品の左右のスペースやスロープとスロープの間を歩いて車いすを押してください。
- タイヤやハンドリムがスロープの側壁に当たらないよう注意して進んでください。

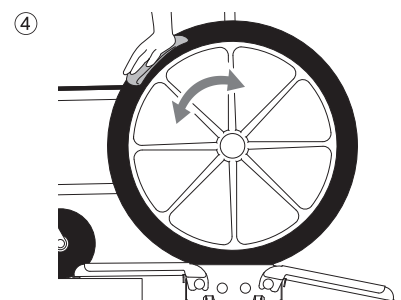


② ローラー上で前輪を進行方向にゆっくりと回転させながら、介助者または車いす使用者が拭き上げてください。
ぞうきんなどを持った手でタイヤをつかんで回転させながら拭いてください。
左右両側の前輪を同じように清掃します。
※車いす使用者が拭き上げる場合、転倒や転落に十分に注意してください。
介助者は車いす使用者から目を離さないでください。

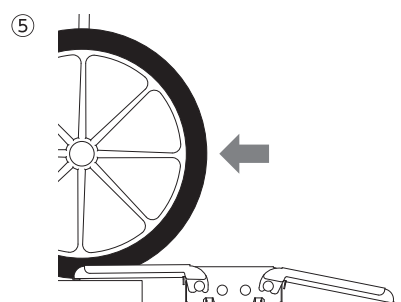


③ 介助者が車いすを押し進め、前進して後輪をローラーに乗せます。

④ ローラー上で後輪をゆっくりと回転させながら、介助者または車いす使用者がタイヤを拭き上げます。
ぞうきんなどを持った手でタイヤをつかんで回転させる、または片手でぞうきんなどをタイヤに押し付けながら、もう一方の片手でハンドリムをつかんで回転させてください。
左右両側の後輪を同じように清掃します。



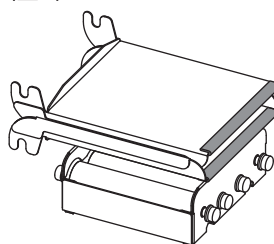
⑤ タイヤがきれいになったら、介助者が車いすを押し進め、スロープを通過して前進します。



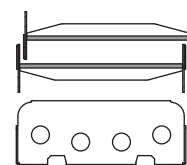
<重ねて携帯する場合>

製品を携帯して外出先で使用することも可能です。
携帯・保管する際に重ねる場合は、図2のようにスロープ先端の方向を揃えて、滑り止めシートのある面を向かい合わせて側壁が互い違いになるようにしてください。(図3)
スロープ先端をローラー台のボルトキャップ側に向けて、重ねたスロープをローラー台の上に載せてください。

(図2)



(図3)



8. 使用の際の点検項目

●本製品を組み立てて使用する際に、以下の項目を確認してください。異常があった場合は直ちに「ご使用を中止し、販売店や納入業者にご連絡ください」。

点検項目		確認	
設置位置は使用する車の幅に合っていますか？		はい	いいえ (P7参照)
ローラー台は左右2台ともガイドフレームの調整溝にしっかりとハマっていますか？		はい	いいえ (P7参照)
手前側のスロープ先端は地面に接地していますか？		はい	いいえ (P7参照)
平らな 場所に 設置 する場合	奥側スロープ先端は地面に接地していますか？	はい	いいえ (P6参照)
段差の ある 場所に 設置 する場合	上側スロープの先端が5cm以上設置面に掛かっていますか？	はい	いいえ (P6参照)
スロープやローラーにガタつきはありませんか？		はい	いいえ (P7参照)
端面保護バンドのはずれ、滑り止めシートの擦り減りやはがれはありませんか？		はい	いいえ (P11参照)

9. お手入れ方法

<普段のお手入れ>

スロープ、ローラー：毛先のやわらかいブラシなどで掃いて、表面の砂や土などの汚れを落としてください。
ローラー台、ガイドフレーム：外側を柔らかい布で拭き取ってください。

<汚れた時>

表面の砂や土をブラシなどで落とした後、薄めた中性洗剤を染み込ませた布で拭き、洗剤が残らないよう仕上げに水拭きしてください。

<消毒方法>

製品の消毒はアルコール清拭消毒、逆性石けん清拭消毒などを推奨します。この製品に使用している素材の物性を考慮した消毒方法を選択してください。

アルコールを使用する場合：アルコール消毒剤を柔らかい布に吹きつけてから清拭してください。

次亜塩素酸を使用する場合：6%水溶液を100～200倍に希釈して清拭し、仕上げに水拭きしてください。

<保管方法>

使用後は泥や汚れを落とし、よく乾燥させた状態で、直接日光が当たる場所や高温多湿の場所を避けて屋内で保管してください。スロープとローラー台は重ねて保管することができます。(「7. 使用方法」参照)

⚠ お手入れ上の注意

- 製品に60℃以上の熱を加えないでください。乾燥室をご使用の際は、室温を60℃以下に設定し、製品に直接熱風・熱気が当たらないようにしてください。製品の変形や破損の原因になります。
- 汚れ具合により、期待通りの結果が得られない場合もあります。
- 次亜塩素酸を希釈せずに使用したり、希釈溶液に浸漬させての消毒はおやめください。
- 有機溶剤（シンナー・ベンジンなど）、殺虫剤、強酸性洗剤は使用しないでください。
- ワックスや潤滑剤は使用しないでください。
- オゾンガス、ホルムアルデヒドガスは金属部分に影響を与えるため、使用しないでください。
- 金属ブラシ、ナイロンたわしなどは傷をつけるため、使用しないでください。
- 高圧洗浄機は使用しないでください。錆など劣化させるおそれがあります。
- オートクレープには対応していません。

9. お手入れ方法

<ローラー台内側の清掃方法>

ローラーに付着した砂や土がローラー台に溜まるため、定期的にローラーを取りはずして清掃してください。

※スパナ(13mm)2本、またはスパナ1本とプライヤーレンチなどをご用意ください。

- ①両側のスロープを取りはずします。
- ②すべてのボルトキャップを取りはずします。
- ③軸の頭をスパナやプライヤーレンチなどで固定して、すべての六角ナットをスパナでゆるめて取りはずします。
- ④外側のローラーのワッシャーとスペーサーを取りはずします。はずした部品は取付順がわかるように並べておいてください。

- ⑤軸を引き抜きます。外側のローラーのワッシャーとスペーサーは軸に通したままにしてください。

- ⑥ローラーをローラー台から取り出します。

- ⑦ローラー台の穴からベアリングを取りはずします。
- ⑧ローラー台の内側のゴミを取り除きます。
- ⑨薄めた中性洗剤を染み込ませた布で拭き、洗剤が残らないよう仕上げに水拭きした後、よく乾燥させてください。

- ⑩ローラー台の穴にベアリングを取り付けます。

- ⑪軸の先端をローラー台の穴に少し通し、ローラーの穴位置と揃えます。
※軸は長さが2種類あります。長い軸は外側のローラー用、短い軸は内側のローラー用です。

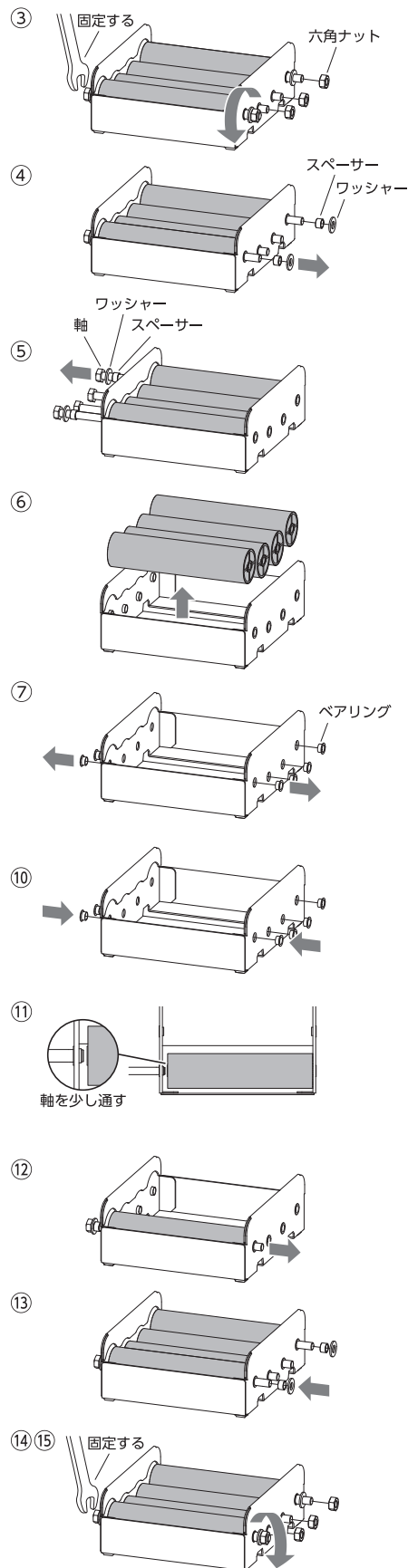
外側ローラー用 
内側ローラー用 

- ⑫軸をローラーの穴に通し、ローラー台の穴まで貫通させます。

- ⑬外側のローラーにワッシャーとスペーサーを取り付けます。

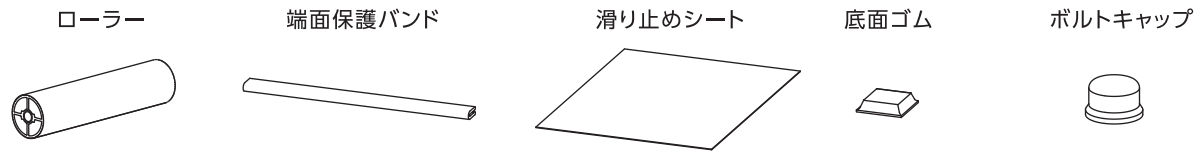
- ⑭六角ナットを取り付け、手で軽く締めます。
- ⑮軸の頭をスパナやプライヤーレンチなどで固定して、すべての六角ナットをスパナでしっかりと締め付けます。

- ⑯六角ナット、軸の頭にボルトキャップを取り付けます。



10. 部品の交換方法

下記の部品は消耗品です。摩耗や破損した場合は交換が必要です。
部品の購入は販売店や納入業者へお問い合わせください。



<ローラーの交換>

表面が摩耗したり破損した場合は交換してください。

「9. お手入れ方法」の<ローラー台内側の清掃方法>を参照し、軸からローラーを取りはずして新しいローラーを通してください。

<端面保護バンドの交換・再取付>

摩耗したり破損して端面の保護が不十分になった場合は交換してください。

- ① スロープの端面保護バンドを端からゆっくり取りはずしてください。
- ② 新しい端面保護バンドをスロープ先端に端から少しずつ押さえながらはめ込みます。

また、落下などの衝撃や想定外の強い力が加わることにより、端面保護バンド内の芯材が変形することがあります。変形すると端面保護バンドがスロープからずぐにはずれてしまうので、指で芯材を押さえつけてから取り付けてください。

- ① はずれた箇所の端面保護バンドを指で押さえつけてください。
- ② 端面保護バンドをスロープ先端に端から少しずつ押さえながらはめ込みます。

<滑り止めシートの交換>

表面がすり減ってきたり、汚れて滑り止め効果が落ちてきたり、端部にめくれが発生した場合は貼り替えてください。

※温度が10℃以上の場所で実施してください。

- ① スロープの端面保護バンドを端からゆっくり取りはずし、滑り止めシートをはがしてください。
- ② スロープ表面を薄めた中性洗剤を染み込ませた布で拭き、洗剤が残らないよう仕上げに水拭きし、よく乾燥させます。
- ③ 新しい滑り止めシートの裏紙を一部はがし、スロープ中央に先端から1～2mm空けて一辺を貼り付けます。
- ④ 裏紙を少しずつはがしながら、空気を追い出すように端から順に押さえて貼り付けていきます。
一度に全面を貼ると、糊面に気泡が残りはがれやシワの原因になります。
- ⑤ ゴムローラーなどで体重を掛けて全体を圧着してください。
- ⑥ 上記の<端面保護バンドの交換・再取付>を参照し、滑り止めシートの上から端面保護バンドを取り付けてください。

<底面ゴムの交換>

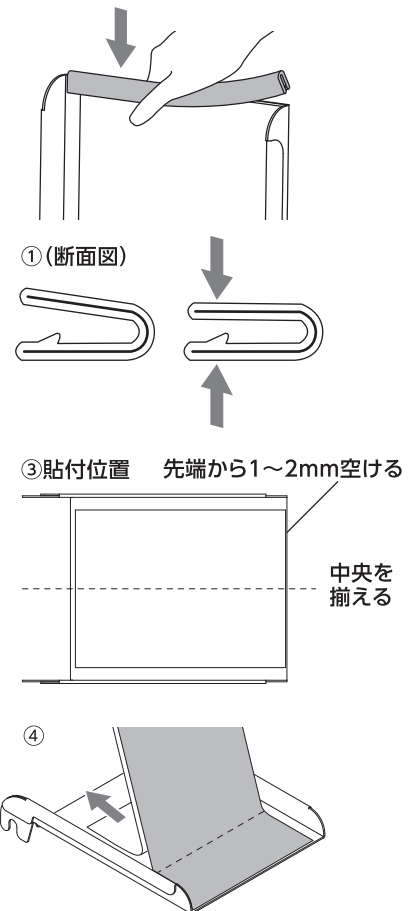
表面がすり減ってきたり、はがれた場合は貼り替えてください。

- ① ローラー台底面から底面ゴムをはがしてください。
- ② ローラー台底面を薄めた中性洗剤を染み込ませた布で拭き、洗剤が残らないよう仕上げに水拭きし、よく乾燥させます。
- ③ 新しい底面ゴムを台紙からはがし、ローラー台の角に合わせて貼り付けてください。
- ④ 体重を掛けて全体を圧着してください。

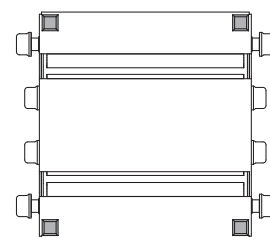
<ボルトキャップの交換>

摩耗や破損した場合は交換してください。

- ① ボルトキャップをつまんで、ゆっくり取りはずしてください。
- ② 新しいボルトキャップを六角ナットまたは軸の頭に被せて押し込みます。



底面ゴムの貼付位置 (4か所)



11.このようなときには

次のような場合は故障ではありません。

修理を依頼される前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、下記のことをお調べになりそれでも直らないときは、販売店や納入業者へご相談ください。

症状	お調べいただくところ	処置のしかた
ローラー台がガタつく	床に段差などはありませんか？	平らで水平な場所に設置してください。
	底面ゴムの剥がれ、擦り減りはありませんか？	底面ゴムを交換してください。(P11参照)
	ガイドフレームの調整溝に、ローラー台底面の凹みのはまっていますか？	ガイドフレームの調整溝に、ローラー台底面の凹みをはめ込んでください。(P7参照)
スロープがガタつく	床に段差などはありませんか？	平らで水平な場所に設置してください。
	(框などの段差がある場所の場合) 上側スロープの先端が5cm以上設置面に掛かっていますか？	上側スロープの先端を5cm以上設置面に掛けてください。
	端面保護バンドがはずれていませんか？	端面保護バンドをしっかりとはめ込んでください。(P11参照)
ローラーが ガタつく・回らない	ローラーやその下に汚れやゴミが溜まっていたり、異物が入っていませんか？	ローラーを取りはずして、ローラーとローラー台内側を清掃してください。(P10参照)
	ローラーの六角ナットがゆるんでいませんか？	ローラーの六角ナットをしっかりと締め込んでください。(P10参照)
	ベアリング、スペーサー、ワッシャー、六角ナットが適正に取り付けられていますか？	すべての部品を適正に取り付けてください。(P10参照)

保証書

この保証書は、本書記載内容で本製品(消耗品は含みません)の無料修理をおこなうことをお約束するものです。お買い上げの日から保証期間中に、取扱説明書(本紙)に記載の注意事項に従った正しい使用状態で故障した場合は、本書にお客様名とご住所をご記入いただき、お買い上げ日を証明する書類と共にご提示の上、販売店や納入業者に修理をご依頼ください。

品名	クリサポ	保証期間	お買い上げ日 年 月 日より1年間
お客様	お名前	販売店または納入業者	〒 ※販売店が記入するか、お買い上げを証明する書類をご提示ください。 TEL ()
	ご住所 〒		

- お買い上げ日を証明する書類として、レシート、領収書、納品書などを本書と共に大切に保管してください。
保証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。
- 保証期間中でも、次の場合は有料修理になります。
 - (1) 使用上の誤り、あるいは不当な改造や修理による故障や損傷。
 - (2) お買い上げ後の落下や輸送による故障や損傷。
 - (3) 部品の色あせなどの経年劣化または使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合。
 - (4) 火災、地震、風水害、落雷、塩害、その他の天災地変ならびに、公害、事故、その他の外部要因による故障や損傷。
 - (5) リサイクル業者や使用者による再販など、弊社の責任範囲を超える場合など。
 - (6) 本書の提示がない場合。
 - (7) 本書にお客様情報の記入がない場合、お買い上げ日を証明する書類をご提示いただけない場合、または字句を書き換えられた場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、販売店や納入業者または弊社カスタマーサービスセンターにお問い合わせください。

レシート貼り付け欄

レシートを貼り付けるか、領収書、納品書などを本書と共に保管してください。

※製品の仕様、外観等は、改良などにより、予告なしに変更することがあります。

商品に関するお問い合わせ

カスタマーサービスセンター

☎ フリーコール 0120-941-239
FAX 03-3432-3203
(9:00~12:00 13:00~17:00
但し、土・日・祝日を除く)
ホームページ www.yamazaki-sangyo.co.jp

 **CONDOR**
Trust of the Quality

山崎産業株式会社

第五営業本部 〒136-0075 東京都江東区新砂 1-13-5
山崎産業東京総合センタービル 4F
TEL (03) 5677-3430 FAX (03) 5677-3434
MAIL info5@yamazaki-sangyo.co.jp
ホームページ www.yamazaki-sangyo.co.jp

山崎産業ホームページ

